



各 位

平成19年 5月11日

クニミネ工業株式会社  
 代表取締役社長 國 峯 保彦  
 (JASDAQ コード番号 5388)  
 問い合わせ先 取締役管理本部長 小山 孝志  
 電話番号 03-3866-7255

## 平成19年3月期連結・単独業績予想の修正について

平成19年3月期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)の業績予想について、平成18年11月17日付当社「平成19年3月期中間決算短信(連結)」及び同日付当社「平成19年3月期個別中間財務諸表の概要」において発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成19年3月期連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	10,095	385	180
今回修正 (B)	10,288	170	52
増減額 (B-A)	193	215	128
増減率	1.9%	55.8%	71.1%
前期(平成18年3月期)実績	9,573	501	229

### 2. 平成19年3月期単独業績予想の修正等

(1) 通期(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	9,595	335	150
今回修正 (B)	9,501	154	110
増減額 (B-A)	94	181	40
増減率	1.0%	54.0%	26.7%
前期(平成18年3月期)実績	9,083	526	340

### 3. 修正理由

売上高につきましては、ベントナイト事業部門は、鋳物関連向けは、乗用車や建設機械等の生産台数が好調に推移したこと等により増収となる見込であり、土木建築関連向けも、民間の一般都市土木関連やマンション需要等の受注が順調に推移したことに加え、大型の廃棄物処分場向けの受注等により増収となる見込であります。ペット関連向けは、ペレットタイプの新規取扱商品が好調に推移したこと等により増収となる見込であります。アグリ事業部門は、従来型の殺虫剤の落ち込みが大きかったことに加え、省力剤等が低調に推移したこと等により減収となる見込であります。従来型の殺虫剤の落ち込みが大きかったことに加え、省力剤等が低調に推移したこと等により減収となる見込であります。従来型の殺虫剤の落ち込みが大きかったことに加え、省力剤等が低調に推移したこと等により減収となる見込であります。従来型の殺虫剤の落ち込みが大きかったことに加え、省力剤等が低調に推移したこと等により減収となる見込であります。

経常利益につきましては、コストダウンの諸施策に真摯に取り組ましましたが、原油価格の高騰およびそれに伴う原材料価格の値上がりを吸収できず、原価率の悪化に歯止めをかけるには至りませんでした。そのため、連結は予想額より2億15百万円減の1億70百万円、単独は1億81百万円減の1億54百万円となる見込であります。

当期純利益につきましては、連結は予想額より1億28百万円減の52百万円、単独は40百万円減の1億10百万円となる見込であります。

上記予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。